

事業所名

放課後等デイサービスくまろーずスポーツ

## 支援プログラム

作成日

令和7年

2月

20日

法人（事業所）理念	社会的な役割として福祉事業を担う時に私たちに何が出来るのか。迷い、自問自答しながらもあきらめない、感受性を豊かに許しあえる、そんな存在として地域に根差していく。		
支援方針	将来を見据えて、児童一人一人が様々な遊びや活動を通じて、自立心や生きる力を育ていけるよう支援を行っていく。		
営業時間	9時	00分から	17時30分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検温や視診、活動時の様子等から心身の健康状態の把握を行う。</li> <li>・食事、衣類の着脱や排泄などの日常生活に必要な習慣、動作が身につけられるようご家庭と連携して支援を行っていく。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動に取り組めるよう環境（屋内・屋外・広さ・安全の確保）に合わせた道具や方法を用いて支援を行う。 屋外…サッカー、野球、フリスビー、散歩等 屋内…バスケットボール、バランスボール、鉄棒、ジャングルジム、トランポリン、体操等</li> <li>・粗大運動と組み合わせて、微細運動を活動プログラムに組み込む。 微細運動…ひも通し、積み木、ブロック、パズル、シール貼り、制作活動等</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・味覚、嗅覚、視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、様々な興味や関心の幅を広げていくことが出来るような体験活動を行う。 （具体的な例として、クッキング、季節を感じ活動（雪遊び、散歩、お花見）、実験、音楽セッション等）</li> <li>・認知の特性を踏まえて必要な場合には、視覚ツール（絵カードやスケジュール表等）を用いて自ら選択して安全に活動に取り組めるよう支援を行う。</li> </ul>	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉によって友達や職員に自分の想いを伝えたり、相手の話を聞き、思いを汲み取るなど、日常の会話でのやりとりや小集団での活動の場面で経験を積み重ねていけるよう支援を行う。</li> <li>・集団活動では、レクリエーションの司会や審判役、誕生日会のインタビュー等、人との相互作用を通して、コミュニケーション能力を高めていけるよう支援を行っていく。</li> <li>・言葉による表出が困難な場合には、ジェスチャーや指さし、サイン等を用いて意思の表出や環境の理解が出来るよう支援を行う。</li> </ul>	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人の特性を理解し、1人1人に合わせた声かけ支援、行動支援を行う。</li> <li>・1人1人の状況や状態に合わせて、集団活動への参加を促す。集団に参加するための手順やルールを理解し、安心して遊びや集団活動に参加できるように支援していく。</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ご家庭に児童のデイサービスでの様子や活動の内容を連絡帳アプリを通じてわかりやすく伝える。また、送迎時には必要な情報共有を行う。</li> <li>・適宜面談や電話相談などを行い、ご家庭に寄り添った支援を行う。</li> </ul>	移行支援	学校等や関係機関との連絡会議に出席する。スムーズな移行を目指し、必要に応じて情報提供、調整等を行う。
地域支援・地域連携	定期的に相談支援専門員や他事業所関係機関と情報共有を行い、支援の質の向上や地域連携の強化に努める。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部で行われる研修に参加し、研修で学んだ内容は、多職員にも必要に応じて周知を行う。</li> <li>・事業所の提供する支援の質を確保するため、事業所内研修を実施する。</li> </ul>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた活動を提供する。 （例）お正月遊び、節分、ハロウィンパーティー、クリスマス会、誕生日会等</li> <li>・防災、避難訓練を実施する。</li> </ul>		